

ベッペ・フェノーリオ

アルバの二百

楠瀬正浩訳



EVENTI E GIORNI DELLA CITTÀ DI ALBA

イタリア。

ネオリアリスモを

代表する作家の

処女作完訳。

戦争という

極限状況におかれた

パルチザンたちの心理と、

名も無き人々の人生の

一面を、

冷徹な眼差しで描いた

佳作12編。



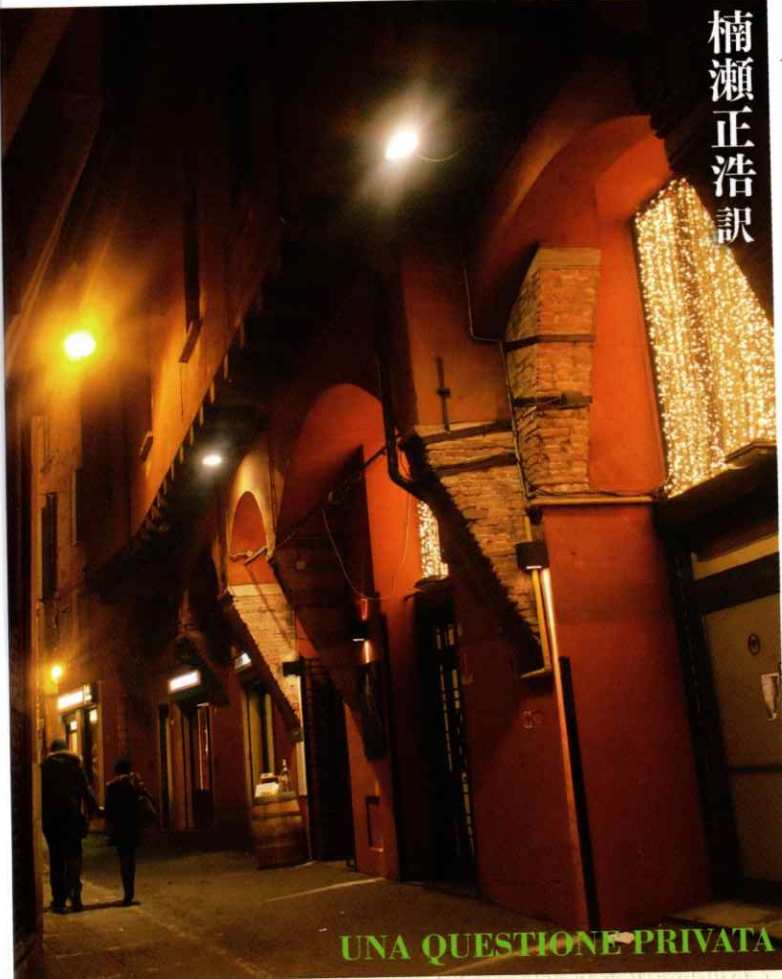
basilico

定価2200円(本体2000円+税10%)

ベッペ・フェノーリオ

個人的な問題

楠瀬正浩訳



UNA QUESTIONE PRIVATA



basilico

イタリア現代文学を

代表する作家の一人で、

早逝した

ネオリアリスモの旗手、

ベッペ・フェノーリオの

代表作を完訳刊行。

物語は大戦末期の

イタリア内戦を舞台に、

ファシストと死闘を

繰り広げた。パルチザンの

エピソードを横系とし、

主人公ミルトンの恋人

(と思われている)フルヴィアへの

狂おしい恋情と

親友ジョルジョとの

友情のせめぎ合いを

縦系として紡がれていく。

イタリアで世代を越えて

読み継がれてきた名作。